

提 案 書

提案名 (25字以内)	MM21エリア住民参加促進プロジェクト
グループ名 (25字以内)	みなとみらいごはん部

【1】提案グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績、またグループの紹介を記入してください。

みなとみらいごはん部は、2015年10月より、横浜・みなとみらいにある街のシェアスペース"BUKATSUDO"を拠点に、みなとみらいの"食"と"人"をつなぐ部活動としてスタートしました。核家族化が進み孤食が増え、また高齢化が進む昨今、家族が大きなテーブルを囲んで食べる機会はだんだんと失われつつあります。また、同じエリアにいなながらも在住者同士の関わりが希薄になりつつある中、このプロジェクトは「定期的に同じ場所に人が集い、そして皆で食事を共にする機会を創出する」ことを目的としています。

2015年は、"食"のコンテンツ(料理教室など)を通して30-40代中心の在勤者と在住者を中心とした家事や子育てなどの情報交換場所として、そして2016年はシニア世代の住民を中心としたコミュニティづくりを目指しました。そのほかにも、横浜を中心とした生産者や飲食店の起用を通じた地域運動の取組みにも尽力しています。

ホームページ <http://www.gohan-bu.com>

【2】助成を受けて行う活動の年間計画を記入してください。

月	内 容
4月	(通常活動月)
5月	第1回:MM21エリア在住(住民)の参加促進デーの設置(マンション近隣にて集合→BUKATSUDOキッチンにて交流)
6月	(通常活動月)
7月	(通常活動月)
8月	第2回:MM21エリア在住(住民)の参加促進デーの設置(マンション近隣にて集合→BUKATSUDOキッチンにて交流)
9月	(通常活動月)
10月	(通常活動月)
11月	第3回:MM21エリア在住(住民)の参加促進デーの設置(マンション近隣にて集合→BUKATSUDOキッチンにて交流)
12月	(通常活動月)
1月	(通常活動月)
2月	第4回:MM21エリア在住(住民)の参加促進デーの設置(マンション近隣にて集合→BUKATSUDOキッチンにて交流)
3月	(通常活動月)

【3】助成を受けて行う活動の内容について、次の項目に沿って記入してください。

- (1) 活動の内容
- (2) 活動の主催者及び参加者
- (3) 活動を実現するための方法
- (4) 時期
- (5) 場所
- (6) 当地区で活動を行う理由
- (7) エリアマネジメントの効果(活動を行うことによる当地区への効果)
- (8) その他、特徴やアピールする点

みなとみらい21 エリアマネジメント活動助成事業

(1)活動の内容

毎月、第2土曜日、第3水曜日、第4木曜日(ともに昼)を基本活動日とし、参加者全員でランチタイムに一同に食事を共にすることで、在住者と在勤者の交流、そして地元の生産者や飲食店の方々による知識習得や情報交換等を目的に活動を行います。

(2)活動の主催者及び参加者

主催者:みなとみらいごはん部

参加者:MM21エリア(または近隣)在住者、在勤者、来街者

(3)活動を実現するための方法

*参加促進デー(無料体験ツアー)の実施

2016年に在住者へのアプローチを強化し、マンション内へチラシを配布し認知度が上がった一方で、「ごはん部の開催場所がわからない」「どんな団体が開催しているのかわからない」という声も多く、実際の参加率は思ったほど高くなかった。

そこで、住民の方にマンションの下(または公園など)で集合していただき、活動場所のBUKATSUDOまでスタッフと一緒に行き、BUKATSUDOの場所を知り、そこで“食”を通して交流を図ることで次回来るきっかけをつくる。

目的 :住民の方の参加率を上げ、新たなコミュニティに参加していただくきっかけをつくる。

→現在の開催中のコミュニティ(ごはん部)に、いかに参加したいと思っていただけるかがポイントに。

参加費 :無料

内容案 :

10:00 マンション下や公園などに集合していただき、BUKATSUDOまで散歩。

*「野草博士」によるレクチャーなどを交え、BUKATSUDOへノ道筋も楽しみながら、また次回からは一人で行けるよう(道も覚えていただけるよう)な工夫を凝らします。

10:30 BUKATSUDOキッチンにて、自己紹介。

11:00 実習形式のレッスンを体験 →現状の講座へ誘導し、来月以降も通いたいと思っただけすることが重要。

13:00 交流会

14:00 終了、解散

(4)時期

2017年4月1日-2018年3月30日

*3ヶ月に1回、5月、8月、11月、2月の計4ヶ月で実施。

(5)場所

BUKATSUDO内キッチン

(6)当地区で活動を行う理由

オフィス街である一方、観光地でもあり、また暮らしている方もたくさんいらっしゃる異色のエリア。同じエリア内にいながらも人と人の関わりが希薄になりがちなか社会背景の中、私たちの活動目的である他業種多世代にわたる人々が集まる地域コミュニティづくりの基盤として、活動当初より、このみなとみらい地区はとても適したエリアだと感じています。

また潜在的ニーズもあるため、活動当初から参加者の定着率が非常に高いのも特徴で、今後はさらなる参加者の増加と継続的活動への発展に尽力していきたいと考えております。

(7)エリアマネジメントの効果

今後日本ではシニア世代の増加に伴い、ご年配の方々の自宅ひきこもりや、社会との接点との減少がさらなる社会問題化していきます。だからこそ我々は活動当初より、他地域よりもはるかに先行して高層住宅が供給されてきたこのみなとみらい地区が先行して、タワーマンションが近い将来直面する社会問題を解決する手法を模索していくことは、とても効果があると考えております。すでに現在の参加住民の方からも、横浜みなとみらい地区のタワーマンション居住者には高齢単身層が多く、行き場のない思いをしていらっしゃるお話もよく耳にするようになりましたが、とはいえ、ごはん部のような場所が用意されているからといって、簡単に外に出てきてくださるほど単純な問題ではないことも同時に実感した1年でした。そのため、継続的に「外に出やすい」仕組みづくりを、地道に実施していくことにこそ意味があるのではないかと考えております。

(8)その他、特徴やアピールする点

2015年から活動をはじめ、早くも3年目を迎えました。1年目は、近隣のオフィス在勤者の方を中心にしたコミュニティが、回を重ねるごとに、近隣住民の子育て世代などにも広がり、現在では、30~40代の女性のコミュニティとして定着。参加継続率も非常に高く、毎回継続的に参加予約していく方も少なくありません。実際に、アクティブシニア層対象の回についても、参加された方のレポート率はほぼ100%で、一度参加されれば、コミュニケーションの広がりや楽しさを実感して下さっているようです。ただし、なんといっても実際に、場所がわからない、ちょっとどんな場所なのかかわからない、それを理由に「参加する」その一歩が踏み出せない方も多いうように思います。そのため、2017年はいかに「参加」してもらえるか。まずは「参加する」その一歩の後押しを、背中を押してあげるきっかけづくりに尽力し、来年以降の継続的なコミュニティの繁栄へつなげていきたいと考えております。

収 支 予 算 書

グループ名 みなとみらいごはん部

1 収入（自己資金や他の助成金などを記入してください。）

項 目	金 額	説 明（負担者及び負担方法等）
助成金（A）	500,000	
参加費より一部充填	310,000	*通常開催日の参加費から
合 計（B）	810,000	(B) ≥ (C)

2 支出（助成金対象経費分）

項 目	数量 (単位)	単 価	金 額	説 明
チラシデザイン費	一式	108,000	108,000	デザイン費用
チラシ印刷費	5000枚	10.8	54,000	A4サイズ フルカラー
会場レンタル	12	10,800	129,600	1日4時間×(月3回活動日×年4回=12回) BUKATSUDO協力により 2700円/1h
講師料	12	21,600	259,200	講師1回 20,000円税抜 月3回活動日×年4回=12回
誘導講師謝礼	12	16,200	194,400	講師1回15,000円税抜 月3回活動日×年4回=12回
備品・材料費	12	5,400	64,800	月3回活動日×年4回=12回
合 計（C）	/	/	810,000	【みなとコース】(C) ≥ (A) 【みらいコース】(C) ×4/5 ≥ (A)

昨年報告と今年の方角性

2016年は、シニア世代の参加促進、並びに住民参加へのアプローチにむけての広報活動を軸に活動致しました。

- ・パソコンや携帯にあまり詳しくないシニア世代の参加促進のために、実際に手にとれるチラシを制作。
- ・横浜みなとみらい地区のタワーマンションへのポスティング、またA3サイズのポスター掲示。

MM21 エリアマンションにて配布（2016年7月）

◎制作したリーフレット（A3三つ折り・5000部）



<シニア向け男子料理教室の開催>

2016年7月22日より、毎月第3木曜日に実施中



みなとみらいごはん部として活動をスタートしてから約1年が経ち、みなとみらいエリアの在勤者の参加リピート率は非常に高く、現在も基本活動「夕飯準備付きランチタイムレッスン」は定員（15名）が満席になるほどのご好評をいただいています。

反面、シニア向けレッスンは4名と非常に参加率は低く、ただし、リピート率はほぼ100%となっており、参加までのきっかけづくりが非常に重要と考えます。

その他、地域との連動

みなとみらいごはん部自体をまだまだご存知ない方が多い中で、特に住民の方へどのようなアプローチ、告知、集客を行うかが今後も引き続き課題となります。

2016年は、高島中央公園愛護会の協力により、タワーマンション住民へのアプローチ強化を目的に、みなとみらい秋まつりへの参加（10/29）や、タワーマンション内での料理教室開催の企画などが実現しました。

今まではBUKATSUDOという活動場所にみなさんを誘致することを優先させてきましたが、今後はみなとみらいの別施設との連携などを視野に入れ、外への課外活動やイベント参加などを率先して行いたいと考えております。

◎2016年その他の活動

在勤者を中心に定着化した活動「夕飯準備付きランチタイムレッスン」（毎月第3水曜日に実施）のほか、横浜野菜の生産者や飲食店シェフの起用などを通じた地域連動の取組みは2016年も引き続き行い、みなとみらい地区の魅力の発見と情報共有にも力を入れてまいりました。

<開催実績>

- ・2016年4月「メディカルスパみなとみらい鍼灸院」とのコラボレーション（MM21 住民割引講座）
- ・2016年4月「桜木町 YSC space&cafe 川崎シェフ」とのコラボレーション
- ・2016年5月「神奈川県 創業1728年の老舗お茶屋 茶加藤による食育講座」（MM21 住民割引講座）

- ・2016年6月「PaneOlio 協賛 食育講座」(MM21 住民割引講座)
- ・2016年7月「メディカルスパみなとみらい鍼灸院」とのコラボレーション (MM21 住民割引講座)
- ・2016年7月「桜木町 YSC space&cafe 川崎シェフ」と FishermanJapan のコラボレーション
- ・2016年8月「第三世代が考える 広島「」継ぐ展」とのコラボレーション
- ・2016年9月「AS muffin×NEW PORT」とのコラボレーション (ランドマークテナント企業特典付き講座)

ほか、10月以降も月に1-2回のペースでコラボレーション企画を継続中です。

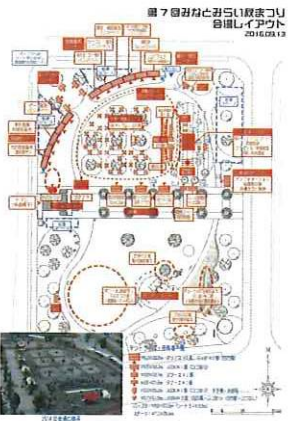
◎みなとみらい秋まつり (10/29 土開催)

親子向け食育レッスン「非常時のアイデアレシピ料理教室」のほか、シニア層でもできる椅子ヨガ(ストレッチヨガ)教室などを実施。この内容は、11月以降みなとみらいごはん部(BUKATSUDO)での定期開催となり、この秋まつりにて先行開催、告知も兼ねて実施致します。

非常時のアイデアレシピ教室

参加費 300円

11:00- /13:30- /14:00-



2016年9月15日更新
主催
みなとみらい秋まつり実行委員会

<MM21 地区住民割引対象レッスン>

- 11月12日(土) 食育レッスン「料理って楽しい! ~世界のごはん~」
- 11月15日(火) ランチタイムにリフレッシュ! そのままストレッチヨガ・ランチ付
- *12月以降も継続開催予定。

◎タワーマンション内での料理教室の企画 (12月)

◆ブリリアみらいコミュニティ◆
12月のいろんな「時間」のご案内

地域の話題
～毎週第2の土曜・第4日～
日時 12月10日(土) 13:00-13:30
場所 2F 大会場(毎月第2回)
申込費 無料
申込 12月1日(日) 締切(12月10日)
親子参加は4歳以上を推奨

料理の話題
～親子料理教室・習いごと～
日時 12月25日(土・日) 10:30-13:00
場所 11F 子育て支援センター(11月-2月)
申込費 2,500円(材料費、自費)
申込 12月1日(日) 締切(12月10日)
親子参加は4歳以上を推奨

12月の行事予定表 (12月1日 - 31日)

12月10日(土) 地域の話題
12月25日(土・日) 親子料理教室

お問い合わせ: 044-251-1111

秋まつり参加を通して、ブリリアみらいコミュニティでの親子料理教室の企画が進行し、みなとみらいごはん部の講師がレッスンを担当するなど、マンション住民のみなさまとのつながりになればと期待しています。